いつもの隣人たち

大橋千佳子

正月の雪野を子熊歩くという冬眠教わらぬままに冬

下駄の歯を縦にした跡残る庭雪の正月探偵になる

去年の初夏初めてもらったカーネーション小さき庭に今春も咲く

いつになく雪の少ない冬を越し山椒繁る葉のつややかさ

刈り込まれ三年ぶりに実をつけた梅の木にお礼を言い立夏

梅の実の雨で落ちまた風で落ち木よ踏んばれと祈り見守る

満開のブルーベリーの花を喰むヒヨドリ一旦は飛び去りて

ホーホケキョキョキョキョキョキョキョキョ…とロングトーン人無き里の青空光る

連日のパンダ返還を惜しむニュース日本は平和と言わんばかりに

年金はよい若者を戦争に行かさぬようにする党を選ぶ